

# 一からわかるドン・ボスコ講座

キエリでの学校生活

# キエリでの学生生活(1831-35) [dvd3](#)

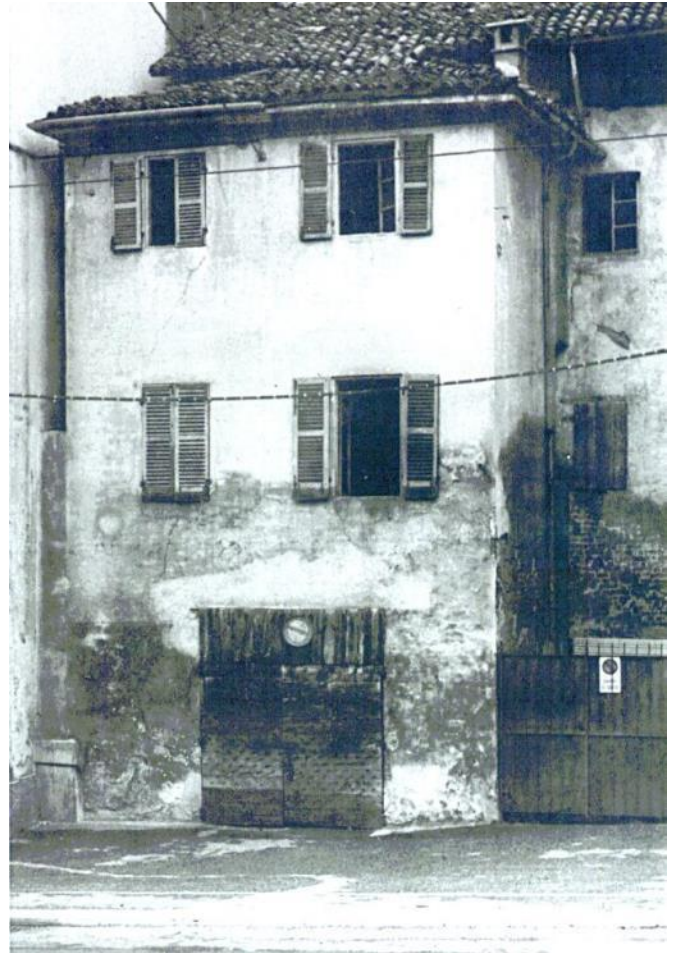


トリノから16キロの町。当時の住民は8500人。  
町の周りの土地は畑を中心に耕され、すばらしい作物を生み出していたが、町の経済は主に繊維工業に依っていた。

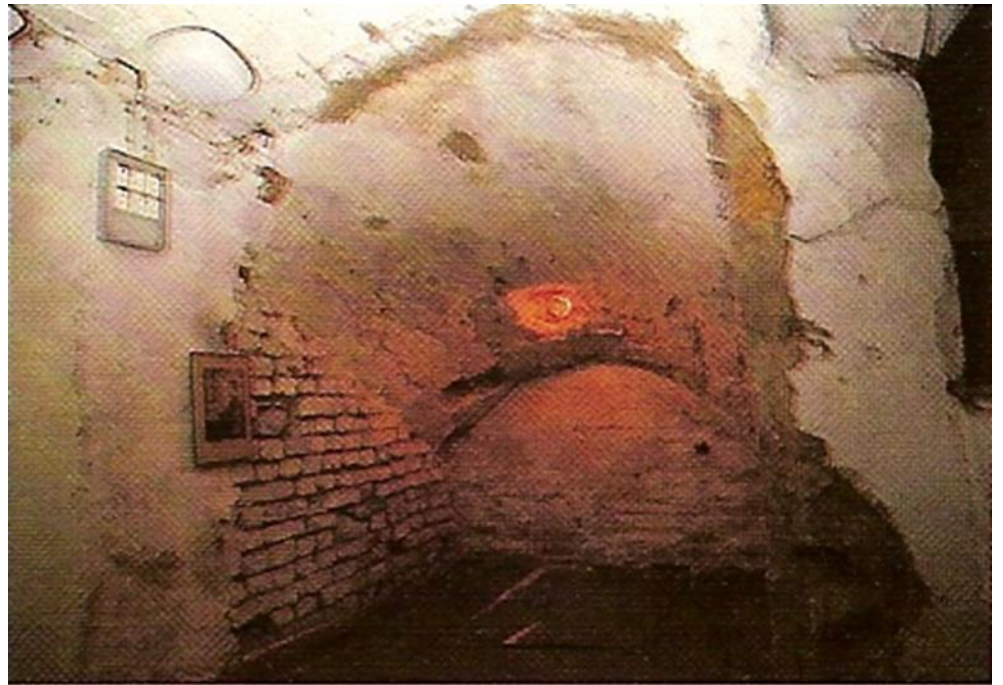
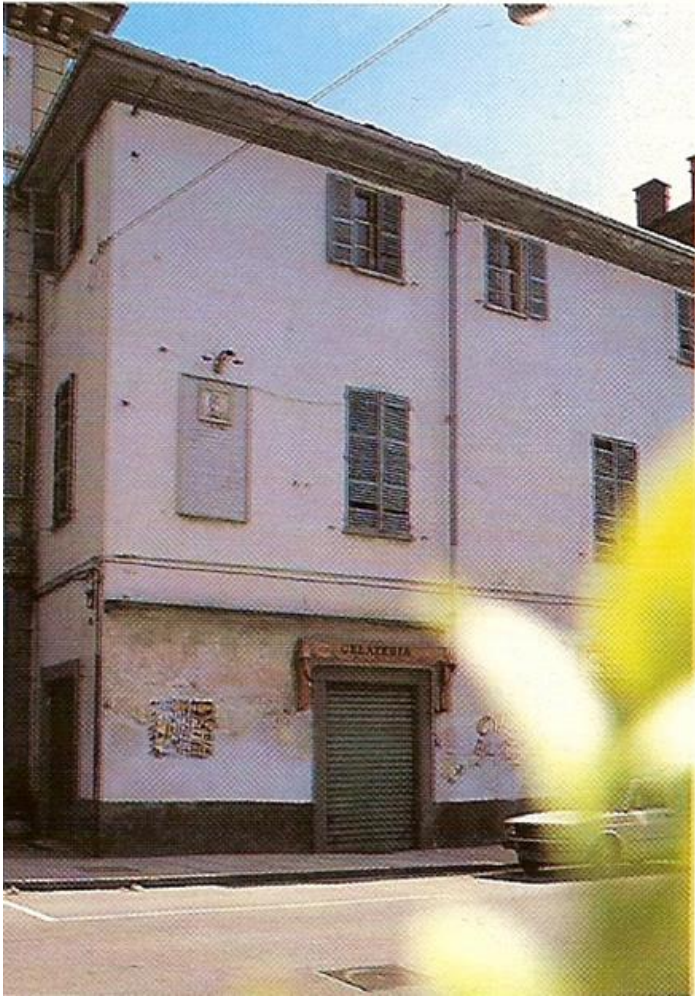












# 宗教を基にした学校教育 p65

中等学校 — 6カ年。ラテン語とイタリア語と文学を中心にしたカリキュラム。6年生(準備段階)、5-3年生(文法)、2年生(文学)、1年生(修辞法)。

- ・カルロ・フェリーチェ王(在位1821-1831)の絶対王政の下、国公立の教育事業は[ ]の独占活動。
- ・厳格な規律、毎日の[ ]、授業前後の祈り。
- ・教師と生徒への厳しい基準。
- ・月に一回[ ]を受けることが義務づけられていた。

→感嘆すべき効果。



# 「よろこびの会」の結成(1832)

級友の識別 → 良い人、並の人、悪い人

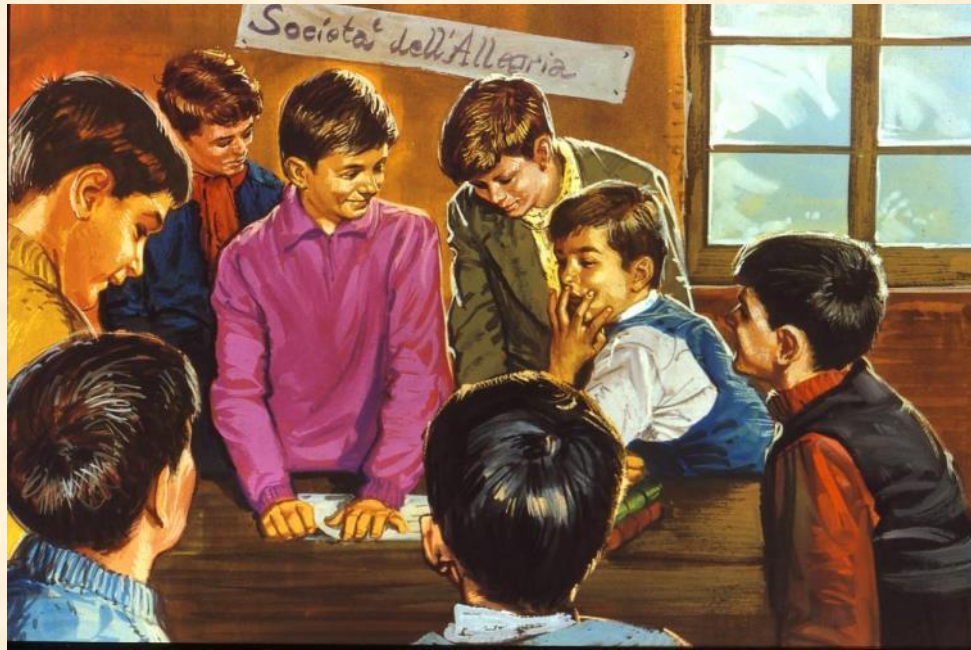
↓  
悪い人とは断固付き合わない

↕  
彼らの勉強を助ける。

↓  
彼らの愛情を勝ちとる。

← 「よろこびの  
会」結成へ

# 「よろこびの会」



- 1・みんなを愉快にさせる材料を探すこと
- 2・みんなを暗くさせることは絶対に避ける
- 3・冒瀆の言葉、よからぬ話も絶対に避ける
- 4・勉強と祈りの務めを果たすこと